男女共同参画情報誌

クローバー Clover

第28号

平成26年8月

特集　「男女共同参画社会に関する意識調査」報告

- キラリ☆輝く　イクメンインタビュー
- デキる男の家事マニュアル
- 事業所の皆さん！準備はされていますか？《介護編》
- メンズコール・―ある日の相談室―
- 第12回　男女共同参画川柳募集

「とよた男女共同参画プラン」では、人の生涯をクローバーにみたて、それぞれのライフステージを葉の一枚で表現することとし、広く親しんでいただけるよう、通称を「クローバープラン」と名づけました。

このクローバーのマークには、どのライフステージにおいても充実した生活を送ることができる「バランスのとれた社会」をめざすという意味合いも持たせています。

キラッ☆とよた（とよた男女共同参画センター）
〒471-0034　豊田市小坂本町1-25
豊田産業文化センター2階
TEL(0565)31-7780　FAX(0565)31-3270
E-Mail　clover@city.toyota.aichi.jp
ホームページ　http://www.hm4.aitai.ne.jp/~clover/

豊 田 市

男女共同参画社会に関する意識調

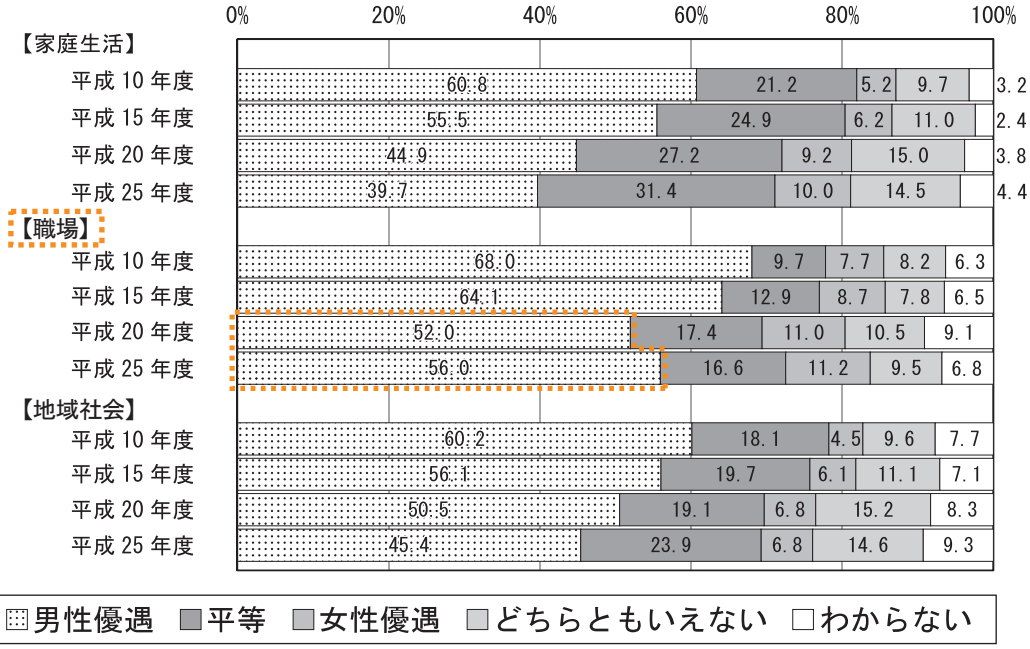
キラッ☆とよたでは、平成25年9月～10月に市内の20歳以上の男女各1,500人を対象に、家庭、地域、職場等における男女共同参画に関する意識や男女の平等・社会参加の実態等についてアンケートを行いました。ここでは、主に職場に係わるものについて概要を紹介します。

男女の平等観について

●家庭生活、職場、地域社会における男女の平等観（経年比較）

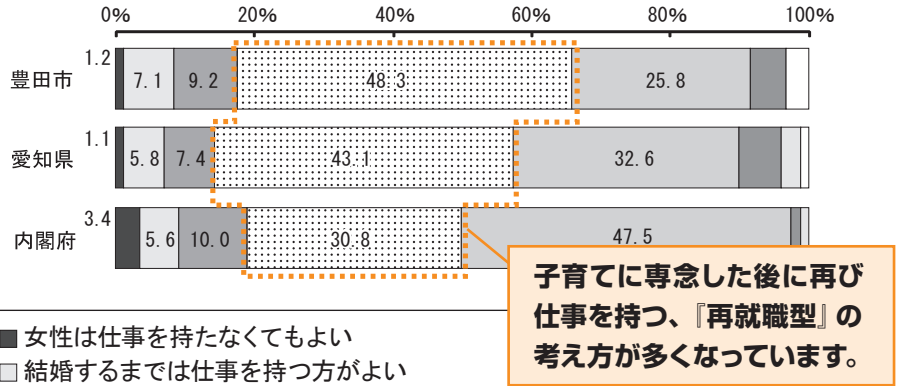
右のグラフを見ると、「家庭生活」「地域社会」において『男性優遇』の割合が低下しており、年々、男女平等の実感が高まっているようです。

しかし、職場においては、平成20年度の前回調査と比較して、今回の調査で『男性優遇』の割合が増えています。



女性の就労に関する意識について

●女性が仕事を持つことについての考え

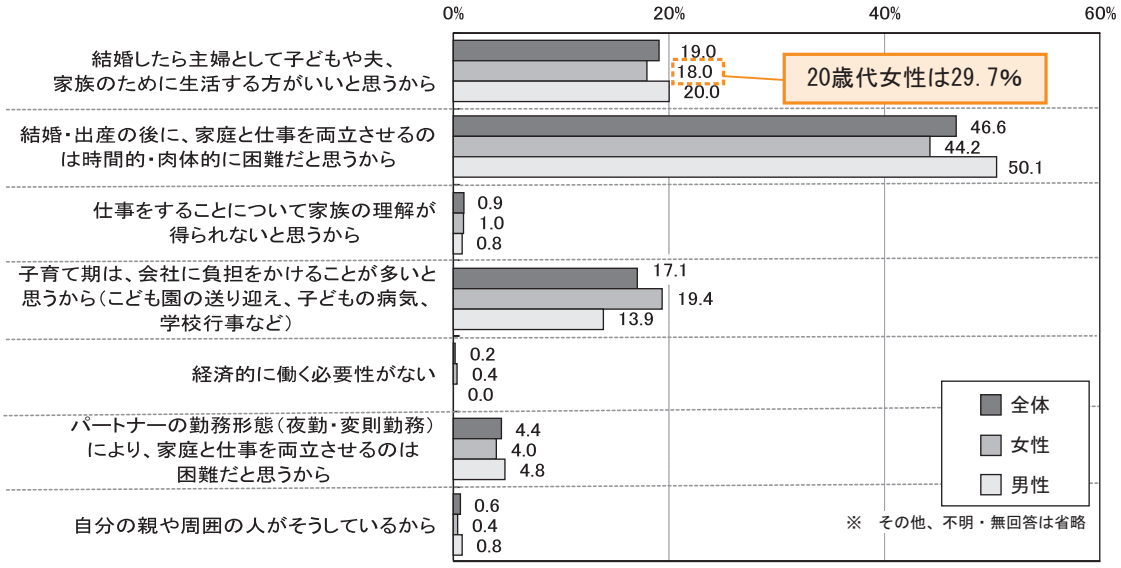


子育てに専念した後に再び仕事を持つ、『再就職型』の考え方が多くなっています。

女性が仕事を持つことについての考えでは、「子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事を持つ方がよい」の割合が最も高くなっています。これは、全国（内閣府調査）、愛知県と比べて高く、豊田市の特徴と言えます。

査を行いました　平成25年度　男女共同参画社会に関する意識調査結果の概要

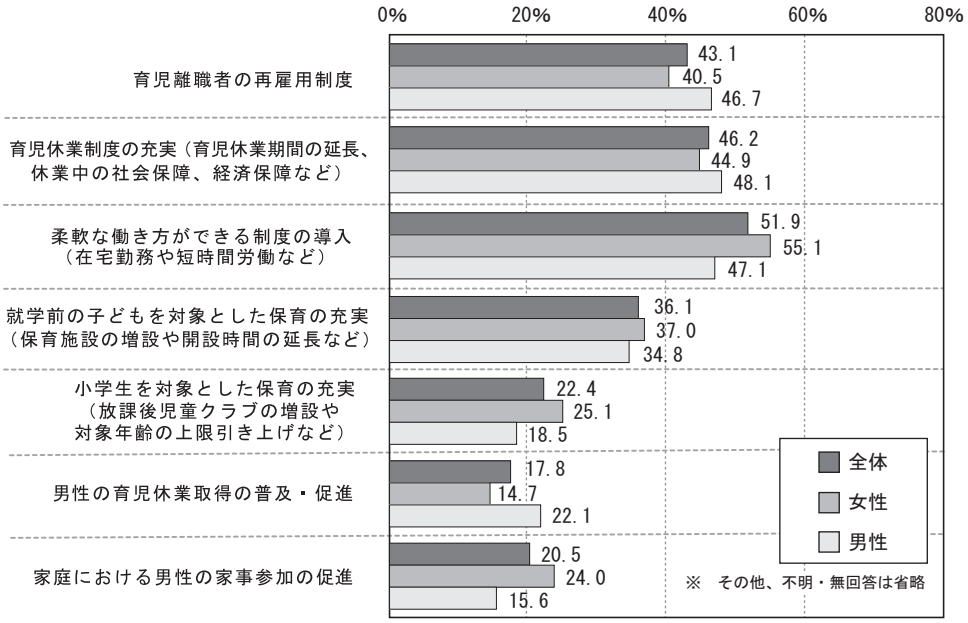
●女性が仕事をしない方がよいと考える理由について（複数回答）



「女性が仕事を持つことについての考え」において、「ずっと仕事を続ける方がよい」以外の答えをした方に理由を尋ねたところ、男女とも「結婚・出産後は家庭と仕事の両立が困難だから」という回答が最も多くなっています。
また、20代女性では、「結婚したら家族のために生活する方がいい」との回答が29.7%と平均を大きく上回っており、専業主婦志向の高まりがみられました。

●結婚・出産後に女性が仕事をするために必要なことは（複数回答）

結婚・出産後に女性が仕事をするために必要なことについては、「柔軟な働き方ができる制度の導入（在宅勤務や短時間労働など）」が51.9%と最も高く、次いで「育児休業制度の充実（育児休業期間の延長、休業中の社会保障、経済保障など）」が46.2%、「育児離職者の再雇用制度」が43.1%となっています。



キラッ☆とよたでは、平成26年度に新たな男女共同参画プランを作成します。その新プランに今回の意識調査の結果を反映させていく予定です。

今回は、女性の就労に関する意識について掲載しましたが、家庭や地域における男女の役割分担、ワーク・ライフ・バランスなどについてまとめていますので、ぜひ豊田市のホームページをご覧ください。

キラリ☆輝く イクメン インタビュー

最近では、「女性の社会進出」と同様に、「男性の家庭参画」も注目を集めるテーマです。
そこで今回は、豊田市在住で育休取得経験のある男性にお話を伺いました。

民間企業にお勤めの佐藤さんは、お子さんが1歳のときに4か月間育児休業を取得されました。ズバリ、育休を取ろうと思ったきっかけは？

直接のきっかけは、子どもが生後6か月のときに妻が風邪でダウンしたことです。それまでは、育児に関わりたいと思っていても、子どもを風呂に入れる他何もできない状況でした。そこから、妻がいなくても育児や家事を一通りこなせるようになるには思いきって育休を取得して頑張るしかない！と考えました。

佐藤さんファミリー

育休を取得して、良かったこと、大変だったことを教えてください。

大変と言えば、育休が始まりしばらくして、妻と大げんかしました。僕は育児・家事の初心者ながらも頑張っていたつもりでしたが、妻には伝わっていませんでした。妻に言わせると、僕がやる育児・家事は妻がそばにいて助けてもらえることが前提であったようです。これでは妻がいなくては対応できません。

そこで、一日の流れを書き出し育児・家事を分担して、僕一人でできるように訓練すると同時にお互い一人になれる自由な時間を作るよう工夫しました。けんかがきっかけですが、おかげでお互いを思いやる心の余裕が出てきて、夫婦の絆が深まったと思います。

そして何より、子どもの成長をそばで見守ることができ、とても幸せでした。

育休の経験は仕事にも活かされています。例えば、発想力豊かな子どもと毎日接したことで僕の中でも感性が磨かれましたし、限られた時間を有効に使う姿勢も養われました。

全国の男性の育休取得率は2%程度（※1）という状況ですが、どう感じますか。

（※1）H25内閣府「男女共同参画白書」より

少ない！ですよね。男性の3割が育休を取りたい（※2）と思っているようですが、実際の取得率は2%。利用したい人が利用できない状況は、望ましい姿ではないと思うんです。

ワーク・ライフ・バランスも、一日単位ではなく人生という長いスパンで考えれば、家庭に比重を置きたい時期や、仕事を頑張りたい時期など様々で、そのときに本人が望む選択ができる社会になればいい。そういう社会は、育児世代だけではなく、みんなに優しい社会だと思います。

僕は家族や職場の理解、協力を得られて育休を取得して、お金に換えられない貴重な経験をさせてもらえたと思っています。子育ては大変なこともあるけれど、それ以上に楽しいことや嬉しいこともあります。だから、世の中のパパにも「もっと育児参加しましょう！」と伝えたいです。

（※2）H20厚生労働省「今後の仕事と家庭の両立支援に関する調査」より

妻のコメント

夫婦とも職場復帰した後は、夫が育休中に育児・家事を覚えてくれたことでとても助かっています。

育児休業の制度や、こども園入園時には申込の時期や方法などについても率先して調べ行動してくれました。今ではとても頼りになるパパです！

佐藤さん夫妻は、柔らかな笑顔が印象的なとても素敵なお二人でした！
インタビューでも言われたように、あらゆる人がライフステージに応じて本人の望む選択ができるよう、私たち一人ひとりが意識を変えていき、みんなに優しい職場風土や社会を作り上げていきたいですね！

デキる男の家事マニュアル ～番外編～

“料理は『愛情』!!” 消防隊員さんに聞きました

「デキる男の家事マニュアル」では家事のコツなどを紹介してきましたが、今回は番外編として、調理をする人・学ぶ人の紹介をします。

そこで日頃、市民の生活を守るため24時間体制で勤務している消防署職員の皆さんですが「勤務中の食事はどうしているの？」という素朴な疑問から、今回は豊田市消防本部・中消防署の様子を取材してきました！

本日のメニュー

『イワシの竜田揚げ』
『大根サラダ』
『味噌汁』

この日は、まずイワシの開き40枚に下味をつけます。全く料理をしたことのない隊員でも、「洗う」から始め「野菜の切り方」、「下ごしらえ・焼き方・味付け」と料理のイロハを先輩から学んでいきます。

おいしく！

これぞ美味しさへのこだわり！
ダシは削り節からとります。

手早く！

豆腐も手のひらで
さいの目切りします。

ムダなく！

魚を揚げるときはゴム手袋？
緊急の救急出動に備えて
手に臭いがつかないように
配慮しています。

見た目も料理のうち！と盛付けにも指導が入ります。

完成！

後列（左）平野（公）さん　（右）蓮尾さん
前列（左）伊佐さん　（右）伊藤（卓）さん

取材者のつぶやき

自宅でも料理をされるそうですが、妻の作るオムライスが一番好きとおっしゃる笑顔が印象的でした。

各自の調理の進み具合をみて、お互いに声を掛け合いコミュニケーションを取りながら作っていたり、先輩から後輩へ知識や技術を伝承していく姿は・・・これぞ！消防署のチームワークのあり方を見た気がします。料理のコツは「愛情」と言われていただけに家族同様に24時間勤務を一緒に過ごす仲間とおいしい食事を囲むことは、大変意義のあることだと消防隊員の皆さんは考えられていました。

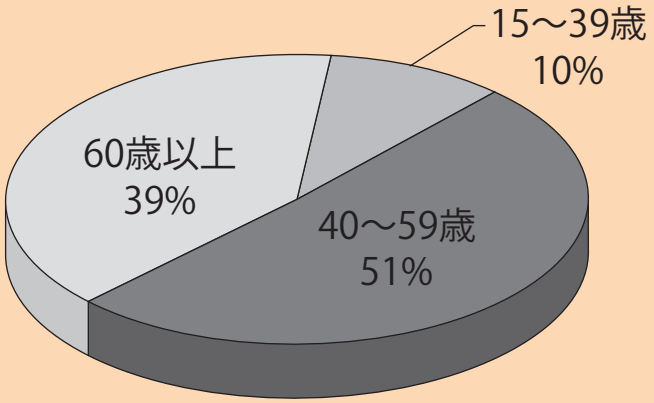
介護などを機に
離職する人が
急増！

事業所の皆さん！準備はされていますか？

「まだ先のことだし、うちは大丈夫！」と思っている事業所の皆さん、人ごとではありません。
すでに介護の問題は始まっています。
いつ、あなたの事業所の問題になるかわかりません。
グラフを見てください。

介護離職者の内訳

介護離職者　総数　43万9,300人



2007年10月～2012年9月　総務省資料

育児・介護休業法は要介護状態の家族一人につき、通算93日までの介護休業と年5日の介護休暇を認めていますが、それでもこのような状況があります。

家族の介護を機に離職する人が急激に増えています。上のグラフは、その離職者を年代別でみたものです。40歳から59歳までの方が51％と半数を占めています。

会社でもベテランで重要なポストである40代、50代の人が介護を機に仕事を離れるという現状なのです。しかも、このような人が今後も増えていくと見込まれています。

もしかしたら、皆さんの事業所でも介護をしながら勤務しているという人がいるかもしれません。

そうした人が実際に、会社の制度を利用され、介護と仕事を両立されていますか？

仕事と介護の両立は、高齢化が進むことが見込まれる中で、ますます重要な課題です。
少しでも不安に思った事業所の皆さん！「介護への対応セミナー」に参加しませんか。

仕事と介護の両立に向けたセミナー

募集中

ぜひ！知っておきましょう

介護する社員も力の出せる組織へ！
～経営者は、今、何をなすべきか～

申込締切
8月19日（火）まで

9月9日（火）14:30～17:00

事業所の取組事例発表や自社に想定される事柄と明日からできる取組事項をグループディスカッションします。現状を知り、考えていきましょう！
事前申し込みが必要です。詳しくはキラッ☆とよたホームページをご覧ください。
他にも知っておくと良い関連情報がありますのでぜひご覧ください！

男性のための電話相談室

つらいときは、つらいと言おう！

メンズコール☆とよた

「メンズコール☆とよた」は、平成18年に愛知県で最初の男性のための電話相談室として開設され、以来、常に相談者に寄り添ってきました。

“男だからこうあるべき”という固定観念や思い込みから「誰かに相談しづらい」「我慢して当然だ」と悩みや不安を自分一人で抱え込んでしまうことがあります。

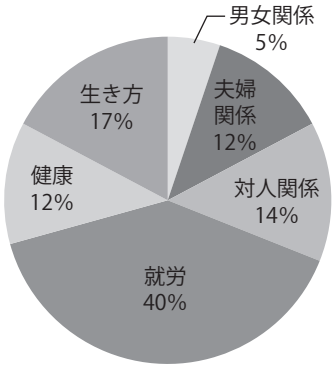
悩んだときやつらいときには、自分や周りの誰かが傷つく前に「メンズコール☆とよた」に電話してみませんか。

自分がやらなければと常に全力疾走している

ついつい誰かにあたってしまい、いつも後悔する

頑張りや我慢が足りないと自分ばかりを責めてしまう

自分は大丈夫と言い聞かせてしまう



平成25年度相談内容の内訳

そんなときはココロもカラダも深呼吸 疲れたら休みましょう

(0565) 37-0034

秘密厳守・無料・匿名　　※男性相談員が対応します

相談日　/　毎月第2・第4金曜日　18：00～20：00

（年末年始・祝日休み）

―ある日の相談室―

ここ４年ほどうつにより休職・復職を繰り返してきました。現在は復職して３か月目になり、職場の理解と協力もあって今までで一番長く仕事が続けられています。

しかし、最近は朝起きるのが辛い日が多くなり、また今までと同じ繰り返しになるのではないかと不安です。もう一つの心配事は、これまでは休職中は何かと父親の援助もあり、経済的にも不自由はしなかったのですが、その父も先月定年を迎えました。これからは頼るどころか、むしろ私が父親を支えていかなくてはという思いもあり、ますます不安になります。

（相談事例をもとに内容は創作したものです）

朝起きるのが辛い日があったりして、この先も働き続けられるかや、休職した場合にお父様へ負担をかけてしまうのではないかと不安になったのですね。

職場復帰後としてはこれまでで一番長く仕事を続けてこられたという、その良い結果に結びついた要因はどんなことでしょう？

それらの要因を大切に生かすことは、働き続けれるかどうかという不安の解消に大きく役立つと思います。

また、働き続ける自信が付けば、きっとお父様を支えていく自信にもつながるのではないでしょうか。

いくつも不安があるときこそ、一つひとつ解決することが大切です。まずはあせらず、そして抱え込まず、何度でもお電話ください。

第十二回 男女共同参画 川柳募集中

育メンと
妻に云われて
尚やる気！

第11回 豊田市長賞

第11回 優秀賞

育休を　すすめる職場　七つ星

第11回 優秀賞

職場でも　家でもママは　管理職

とよた男女共同参画センターでは、男女共同参画川柳を募集しています。

「女らしく」「男らしく」よりも「自分らしく」生きることのできる男女共同参画社会の実現に向け、ユーモアを交えた川柳（五・七・五）でメッセージを表現してみましょう。

入賞作品は、平成27年2月14日（土）開催されるさんかくフェスタ2015にて表彰予定です。

【応募方法】
はがき・封書・ＦＡＸ・Ｅメールで、作品・氏名（ふりがな）・住所・年齢・電話番号を明記して、キラッ☆とよた（男女共同参画センター）まで
（右上のＱＲコードから簡単に申込できます）
※ ひとり2作品まで　作品の返却は致しません。
※ 応募作品は、自作未発表に限ります。
※ 応募作品の一切の権利は主催者に帰属します。
【募集期間】平成26年10月21日（火）まで（必着）

女性のための電話相談室「クローバーコール」

ひとりで悩まずにお電話ください

(0565) 33-9680
（匿名・秘密厳守・無料）
※面接相談あり（要予約）

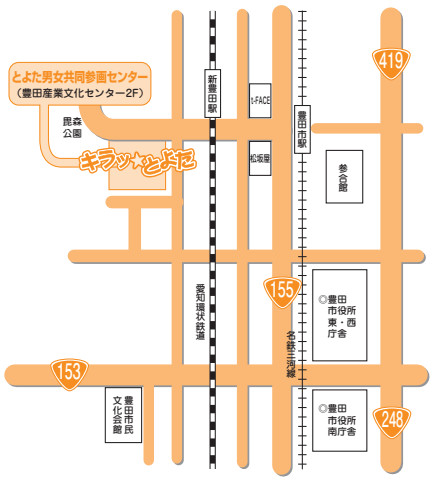
毎週火・木・金・土曜
10:00～16:00
毎週水曜
10:00～13:00・16:00～19:00
（年末・年始・祝日休み）

キラッ☆とよた（とよた男女共同参画センター）のご案内

アクセス
名鉄豊田市駅から徒歩8分
愛知環状鉄道新豊田駅から徒歩3分

開館時間
9：00～21：00
日曜日は17：00まで
月曜日休館
（祝日は17：00まで開館）

夜間も開館しています！
お仕事帰りにも
ぜひお立ち寄りください



あなたの声をお聞かせください！

興味深く読んでいただいた記事やもっと詳しく知りたかったこと、取り上げてほしいテーマなどご意見・ご感想をお気軽にお寄せください。

編集後記

意識調査の結果からも男女共同参画の意識の浸透が進みつつあることがうかがえます。次のステップは一人ひとりの「行動・実践」です！